

筑波大学・MJIT 国際共同学位プログラム推進ワークショップを開催

2016年3月8日、筑波大学生命環境科学研究科はマレーシア日本国際工科院(MJIT: マレーシア・クアラルンプール)において、筑波大学・MJIT 国際共同学位プログラム推進ワークショップを開催しました。

ワークショップでは、Rubiyah Yusof MJIT 院長による開会挨拶の後、2017年度開設を目指し準備を進めている持続環境科学分野の国際共同学位修士プログラムの全体像およびカリキュラム設計について、辻村真貴持続環境学専攻長および Nurul Bahiyah 上級講師からそれぞれ報告がなされました。また、両大学ですでに実績を重ねてきた共同指導体制や共同研究、学生相互派遣について、鈴木石根環境バイオマス共生学専攻長、原啓文 MJIT 准教授、両大学修士学生の Nurul Syahira 氏(内海真生生命産業科学准教授研究室にて受け入れ)、Mohd Danial 氏、稲葉遊氏より報告があったほか、両大学における共同学位プログラムの取り組み例の話題提供がありました(Ezzat Chan MJIT 副院長、廣田充持続環境学専攻准教授)。

ワークショップ後半のディスカッションでは、本国際共同学位プログラムの独自性やさらなる連携強化、日本による多様な支援の可能性について、活発な意見交換がなされました。在マレーシア日本大使館および JICA マレーシア事務所からのご出席をはじめ、30名を超える参加を得て、会合は白岩善博教授による閉会挨拶をもって盛会のうちに幕を閉じました。



その他筑波大学関係出席者

生命産業科学専攻 中村幸治専攻長、内海真生准教授

持続環境学専攻 水野谷剛准教授、甲斐田直子助教

生命環境科学研究科・生命環境学群 短期派遣プログラム学生 9名

国際室 杉浦則夫 MJIT 教授、岩本浩二 MJIT 准教授